

公

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	かるがも訪問支援			
○保護者評価実施期間	令和7年9月8日		～	令和8年1月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○従業者評価実施期間	令和7年9月1日		～	令和7年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○訪問先施設評価実施期間	令和7年9月8日		～	令和7年9月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2	(回答数)	2
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月22日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から療育に携わる職員、必要に応じて理学療法士、作業療法士、言語聴覚訓練士が支援に関わるなど、複数の職員が多角的な支援を行えること。	職員間で情報共有を行い、お子さまの必要な支援について検討している。	多職種の職員や関係機関と連携し、支援の幅を広げていきたい。
2	児童発達支援センターとして、日頃から市内の学校・園との連携に努め、日常的に相談していただけるよう心がけている。	療育講座や見学会などを開き、現場の先生方の困りごとについて情報共有を行っている。また、保護者の相談にも丁寧な聞き取りに努めている。	今後も保護者や学校・園との連携に努め、相談していただきやすい環境を作っていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問日等の日程調整が難しい。	訓練士の勤務日等の都合により、曜日や時間が固定されるなど、訪問日の柔軟な対応が難しい。	訪問先の意向に応じて、可能な限り対応していきたい。
2	訪問回数が少ない。	人員の都合にもより、多くの訪問が難しい。	保育所等訪問支援事業のサービスとしてでなくとも、学校や園からの相談には随時応じ、必要に応じて保護者同意のもとお子さまの集団先での見学に伺うなど柔軟な対応に努めたい。
3			